

■ 安否確認の方法の例

(1) 従業員の安否確認

安否確認の方法	<input type="checkbox"/> 携帯電話のデータ通信 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> 災害用伝言サービス (各種ネットサービス、ミニブログ、掲示板など) <input type="checkbox"/> 安否確認サービス
---------	---

○安否確認の連絡内容

所属と氏名	〇〇課の 札幌花子です。
所在地	現在〇〇区にいます。
身体の被害の有無	けがはありません。
移動場所	これから帰社します。
家族の状況	家族は全員無事でした。
自宅の被害状況	自宅の被害はありません。

(2) 家族との安否確認 (各種災害用伝言サービス)

NTT災害伝言ダイヤル 171	震度6弱以上の地震発生時、災害によりかかりにくくなっている地域の固定電話番号を対象とする。 録音は30秒以内で、48時間保存される。
災害用ブロードバンド伝言板 (web171)	被災地の方が、自宅の電話番号宛に文字・動画・静止画・音声を登録し、全国からその音声を確認することができる。48時間保存される。 https://www.web171.jp/
携帯電話・PHS各社による災害用伝言板サービス	大規模災害や震度6弱程度以上の地震発生時にサービスが開始される。自分の安否情報(選択式)とコメント(全角100字)を登録できる。31日またはサービス終了まで保存される。

○災害伝言ダイヤルを体験できる日

- ・毎月1日、15日
- ・正月三が日(1月1日正午から1月3日午後11時まで)
- ・防災とボランティア週間(1月15日～21日)
- ・防災週間(8月30日～9月5日)